

ゴッポがから

広報



シンボルマーク

第18回東北総体 ソフトボール・柔道競技開かれる



雨の中堂々と入場行進する本県選手団(上)と、全勝で団体出場を決めた本県柔道成年女子チーム(左)

毎号とじこんでください。きつとお役に立ちます。

東北のスポーツの祭典・第十八回東北総合体育大会(ミニ国体)のソフトボール競技が八月三十日から、また柔道競技が同三十一日から九月一日まで、本市を会場に開かれました。

ソフトボール競技の開会式は、市営球場で行われ、東北六県から選手四百人が参加しました。この日は、時折り激しい雨が降る悪コンディションのため、競技は三十一日に順延されました。

また、三十一日には柔道競技が市民体育館を会場に行われ、各県代表の選手二百二十人が参加しました。両競技とも、団体出場を目指して熱戦が繰り広げられました。

平成 3 年

9.15

No.743

人口と世帯

		前月比
男	23,701	(-15)
女	26,410	(-5)
計	50,111	(-20)
世帯数	16,399	(-13)

(7月31日現在 住民基本台帳)

など102人を表彰 福祉大会

市と市社会福祉協議会、市老人クラブ連
合会が共催する「第二十八回市老人福祉
大会」が九月六日、市民体育館で開かれ
ました。



佐々木市長から表彰される方々

この大会は、「みんなで築
こう豊かな老後・社会に活
かそう知恵と経験」をスロ
ーガンに、社会に貢献して
きたお年寄り達を慰労する
とともに、その長寿と健康
を祝うために開かれている
もので、七十五歳以上のお
年寄り約千四百人が出席し
ました。

大会では、佐々木市長の
式辞に続いて、九十五歳以
上の長寿者二十一人と米寿
を迎えた五十九人、寝たき
り老人介護者五人、老人ク
ラブ十七人など合わせて百
二人を表彰しました。
また、この日は県長寿福
祉祭での顕彰状などの伝達
も行いました。
昼食の後、アトラクショ
ンが行われ、出席したお年
寄り達は楽しい一日を過ご
しました。
表彰された方々は次のと
りです。
(敬称略)

95歳以上の長寿者



齋藤 まさ
97歳
(戸沢)



浅川 巽
98歳
(中平井町)



新谷 きよ
98歳
(前田野目)



三浦 まさ
99歳
(金山)



小野 よし
101歳
(金山)



加藤 かよ
104歳
(稲実)



横嶋 なを
96歳
(金山)



石岡 ちよ
96歳
(野里)



下山 ヒサ
96歳
(新宮町)



福間 たけ
96歳
(毘沙門)



川浪 きよ
96歳
(藻川)



今 つな
97歳
(飯詰)



泉 つせ
95歳
(金山)



小栗山ふみ
95歳
(小曲)



佐藤 茂助
95歳
(前田野目)



成田 タミ
96歳
(高瀬)



中村 とし
96歳
(柳町)



齋藤 清吉
96歳
(前田野目)



95歳以上長寿者 —市老人

齊藤キツ(蓮沼、赤平とも、上平井町、山川チセ(中平井町)、小田桐勇太郎、花田セツ、益田サキ(以上幾世森、星野長春(若葉一丁目)、大川つる、小野ナリ、沢田源造、田中リセ(以上金山、新井トミ、太田萬之助(以上唐笠柳、石塚音治郎(石岡、佐々木さよ(吹畑、島村せつ、高杉あき以上上太刀打、笠原やよ(松島町七丁目、島村ソト(姥池)、成田柳四郎、中村キサ(以上上広田、葛西ミヨ(七ツ館、宮本いち(みどり町六丁目)、松本フヨ(新宮、館山福右衛門(川山、斎藤慶三郎、柳原リセ(以上原子、福土コヨ、福土忠次(以上高野、新谷伊太郎、須藤モヨ、安



坂本 みゑ
95歳
(前田野目)



福士 ちせ
95歳
(高野)



永澤 おしみ
95歳
(金山)

88歳に達した長寿者

田專治(以上前田野目、工藤チカ(浅井、泉とみ、金丸うめ、成田つる(以上神山、中川キエ(松野木、齋藤きは(戸沢、岡田ソト、櫛引かよ、今トス、中谷賢造、乳井ミヨ、濱館友市、濱館八太郎、船水やよ(以上飯詰、笠井ヨシ(下岩崎、山口定五郎、山口又一(以上毘沙門、須藤徳市(長富、葛西重次郎、神ヤサ、畑山くに、渡邊民次郎、渡邊まつ(以上藻川、青山オスヨ、小野ぼす、小野サト、木村ア子(以上高瀬)

寝たきり老人

介護者

対馬みね(米田、坂本育造(田町)、小田桐あきみ(元

老人クラブ

表彰

町、秋田とし系(七ツ館、越谷栄蔵(広田)
前田つな(前市老連婦人部長、鰐田と志(旭町旭老会)、山内き系(下平井町第一高砂会、小田桐イマ(同第二高砂会、佐野駒三郎(幾島町幾朗会、新谷良吉(前田野目第二長寿会、岡田多次郎(桜田寿生会、山田武雄(稲実寿会、福土豊三(梅田老睦会、長尾勝治(上鶴ヶ岡鶴寿会、平山政雄(飯詰大坊会、山口賢吉(同明生会、松野辰巳(神山高砂会、山本善次(若葉新生会、山上浅太郎(布屋町長寿会、松沢萬治郎(川山福寿会、木村平内(田園町和好会)

県長寿福祉祭

表彰

(伝達)

100歳以上の長寿者

加藤かよ(稲実)、小野よし(金山)

88歳以上の長寿夫婦

浅川巽・ヒサ(中平井町)

90歳に達した長寿者

小笠原謙吉・イマ(前田野目)
笹田ハル(幾世森、鈴木トシ(本町)、三上貞(布屋町)、池永ツルヲ(弥生町、田中久七(下平井町)、青山サヨ、佐藤吉右衛門、吉崎トヨ(以上漆、外崎キミ(長橋、石谷ツセ、古川トメ(以上沖飯詰、渋谷イヨ、松本ナヨ、木村こま、松本ソヨ(以上金山)、対馬さと(米田)、寺田市太郎(石岡、伊藤ソト

老人福祉関係

土岐誠一(梅田米寿会、木村与四郎(高瀬高寿会、工藤磯次(福山第二長生会)
在宅ねたきり高齢者介護
笠井トミエ(桜田)

長生きのひけつは…

今回、95歳以上で表彰された方21人の「長生きのひけつ」は……。
最も多いのが「何んでも食べる」が7人、次いで「くよくよしない」が6人、「よく働くこと」と「早寝早起き」が各2人、「三食きちんと食べる」「毎日の晩酌」「毎日の散歩」「食べものに気をつける」が各1人ずつでした。



生涯学習の意義を探求

— 県公民館大会 —

青森県公民館連絡協議会(児玉恵吾会長)主催の「第三十二回県公民館大会」が八月二十六、二十七の両日、市中央公民館で開かれ、公民館活動の在り方や将来の展望について協議を行いました。

同大会は、変革の時代に伴い、公民館の果たす役割も年々変化していることを受け、生涯学習体制を確立

するため、公民館の将来的展望について研修するために毎年開いているもので、今年は西北五公民館連絡協議会(斎藤忠男会長)が主催して開催されました。

開会式には、県内各市町村の公民館関係者約四百五十人が参加。はじめに児玉会長が「変革の時代を迎え、地域住民の価値観や考え方が大きく変わろうとしている

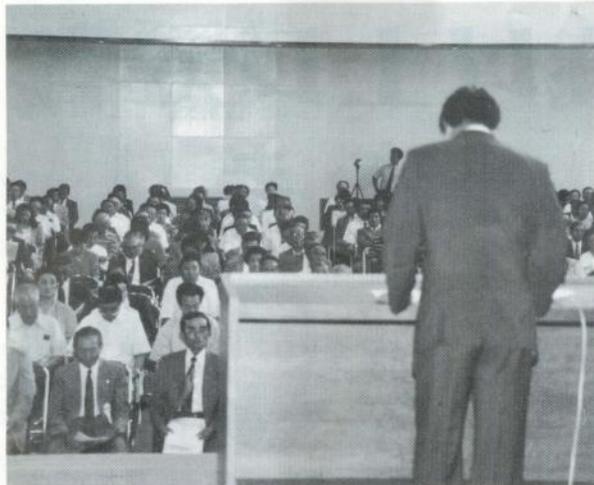
のに伴い、地域生涯学習の場としての中核施設である公民館における生涯学習体制の整備は、今日的課題として積極的に取り組まなければならない」とあいさつを述べました。

その後、平成三年度県公民館優良職員十九人が表彰を受けました。

引き続き、県知事(代理)、県議会議長(代理)が祝辞を、小山内助役が歓迎のこたばを述べた後、県明るい選挙推進協議会の田端義宏常任委員が「生涯学習と公民館とかかわり」と題し記念講演を行いました。

大会二日目は全体集會を開き、柴田一喜岩崎村企画室係長、NHK文化センター講師の大條和雄氏、富田得治、鯉ヶ沢町社会教育委員長の三人の活動報告があり、その内容と成果について協議を行いました。

最後に、大会決議を採択して大会を閉会しました。



公民館の将来像を語り合った県公民館大会

あなたの声を市政に反映

— 21世紀五所川原市民会議地域集會 —

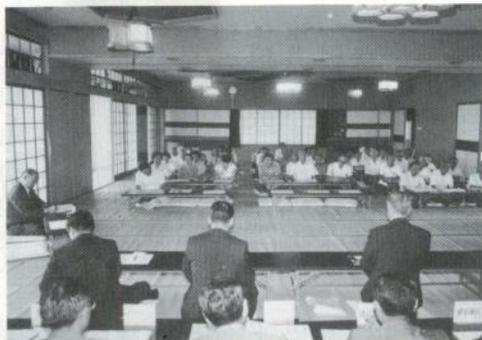
二十一世紀五所川原市民会議(地域集會)が九月五日の三好地域集會を皮切りに、十一日までに六か所で開催されました。

これは、誰にでも誇れる五所川原、いつまでも愛される五所川原をつくるため、市民皆さんの声を市政に反

映させていこうとするものです。

初日の三好地域集會には、同地区の行政連絡員をはじめ地域住民、地元市の市議員など、市からは佐々木市長はじめ関係部課長など合わせて約百人が出席して行われました。

佐々木市長のあいさつの後、集會に入り、道路や排水路の整備、学校建設など生活に密着した身近な問題についての要望が数多く出され、それらの一つひとつに市長はじめ関係職員が市の対応を示しました。



生活に密着した要望が出された地域集會

◎今後の地域集會の日程

月	日	曜日	時間	対象地区	開催場所
9	27	金	10:00~	梅沢地区	梅沢コミセン
			13:30~	七和地区	コミセン七和
10	3	木	10:00~	小曲地区	農村婦人の家
			13:30~	五所川原(北)	しきしまコミセン
10	4	金	10:00~	栄地区	コミセン栄
			13:30~	五所川原(南)	富士見コミセン

ご寄付ありがとうございます

◎社会福祉へ

斉藤勇悦氏「チャリティ第一回カラオケ選手権大会の収益金二万円
五所川原地区更生保護婦人会「創立三十周年記念賛助金十万円
教育振興会へ

◎教育振興会へ
嶋谷敏氏「嶋谷税務会計事務所創立十二年を記念して十五万円

五所川原地区更生保護婦人会 創立30周年記念大会

「ふれあいと対話が築く
明るい社会」をテーマに九
月五日、五所川原市中央公
民館に於て、会員約二百人
の出席により、開催されま
した。

更生保護婦人会の事業は
何等かにより罪を犯した少
年に、母として、婦人とし
て、愛の手をさしのべ、社
会の中で立派に生きて行け
るよう、手助けをする、愛
の奉仕者団体です。

この日は、齋藤千恵子会
長の「今は、物の豊かさだ



式辞をのべる齋藤会長

けが目立ち、心の豊かさが
失われてきています。この
ような環境の中で、不幸に
して罪を犯してしまつた少
年達が、社会の中で、立派
に生きていくためには、地
域の連帯意識が大事です。

これからも、いつくしみ
の心をもって、少年達を見
守つて参りましょう」と、
心あたたまるあいさつの後
記念講演等があり、会員一
同、更なる奉仕を誓い合
いました。



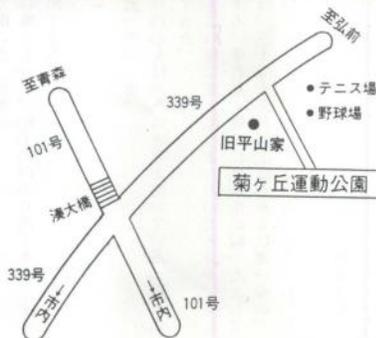
史跡公園 散歩

市内の公園・文化碑
史跡等を紹介してい
きます

④ 旧平山家(国指定重要文化財)

旧平山家は、廃藩当時は大庄
屋であった。

当津軽地方の、上層農民の住
居として、最も古く、しかも、
その原形を、そのまま伝えてい
るといふことで、昭和五十三年
一月、国指定の重要文化財とし
て指定を受け、大事に保存され
ています。見学は午前九時から
午後の四時までとなっています。



戦傷病者等の妻の皆様へ

次に該当する戦傷病者等の妻に、特別給付金が支給されます。

(1) 昭和58年4月2日以降に、戦傷病者等と婚姻した妻、又は同日以降に爾後重症により、第五款症以上の戦傷病者等となったものの妻であって、平成3年4月1日において、戦傷病者等である夫が、第五款症以上の増加恩給等を受けていた方。

(額面15万円〔軽症者半額〕、5年償還の国債)

(2) これまでに一定の特別給付金受給権を取得した妻であって、昭和58年4月1日から、昭和61年9月30日までの間に、戦傷病者等である夫が戦争公務による戦病以外の原因により死亡した方。

(額面5万円、5年償還の国債)

▶**問い合わせ** 県障害福祉課 ☎0177-22-1111内線2296番又は、市役所市民課 (内線262番)

子供達の行動に 関心を持っていますか

9月は家出少年発見保護活動及び福祉犯取締り強化月間です。

夏休みの間に、子供たちの心は、どのように変わっているのでしょうか。

ふえている福祉犯被害

少年たちの家出の原因としては、夏休みの不規則生活、遊びぐせ、学校嫌いなどが挙げられています。家出した9人に1人は非行に走り、29人に1人は、犯罪の被害者になっているのです。有害な業務につかされたりする、少年の福祉を害する被害などから、子どもを守るには、ふだんから、子供の生活に関心を持つことが大切です。

生活の変化を見過がさずに

服装、習慣、言葉等、前兆を見過ごさないよう、又、何か困ったことや、悩みごとがありましたら、親でも、子供でも、「ヤングテレホンコーナー」へ相談してみましょう。

ふれ合いを大事に、新学期に向けて、みんな、がんばりましょう。

ヤングテレホンは青森 ☎0177-76-7676

弘前 ☎0172-35-7676

パート収入と税

税

パート収入は、給与所得となりませんが、一年間の収入が一〇〇万円以下ですと、給与所得控除額(最低六五万円)を差し引いた残額が基礎控除(三三万円)以下となりますので、所得税はかかりませんし、配偶者控除も受けることができます。

知ろう、ふれよう、母なる川の豊かな暮らし

岩木川 河川まつり コスモスマツリ

家族ぞろって
思いきりエンジョイ

日 9月15日(日)
時 09:00~16:00

会場 五所川原市岩木川河川敷右岸

来場者プレゼント
お楽しみ品
お楽しみ品

楽しい企画もりだくさん!!

フレッシュ市場 フリーマーケット 秋のつゆみどり大市 輪船やカヌー体験

ふるさと館 五所川原市立博物館 五所川原市立図書館 五所川原市立生涯学習センター

岩木川河川敷右岸 五所川原市立博物館 五所川原市立図書館 五所川原市立生涯学習センター

ちょっといいおはなし

たった一言が

高校三年生の彼は、もう二十分ちかくも電話ボックスの前に、寒風に吹かれて待っていた。中の女性が、長々と話している。

彼はジリジリして、次第に怒りが高まり、怒鳴る言葉をさえええ始めていた。

漸く、受話器を置く姿を見て、彼は身構えた。戸が開いた。途端に、

「ごめんなさい。すみません。」という言葉が、深い響きをもって、相手の口から出てきた。その瞬間、彼の口からは、全く予期もしなかった言葉が出てきた。

「いいえ、いいんですよ。」

怒鳴る筈だったのに。

「ごめんなさい。もう一度、頭を下げて、女性は去っていった。

彼は、一口論するつもりでいたのに、今はその怒りの心を持ったことさえ悔いていた。「何かあの人には、深い訳があったのに違くない」とも思えてきた。

「ごめんなさい」という一言が、どうして彼の心を変えてしまったのだろうか。もし口論になったとする。女性は、長電話の事情を説明する、それが、仮りに高校生に解ったとして、鬼の心が、たった一言で、佛の心になった。日常の一言々々が、もしそうであったら、もっと心豊かな日々を送ることができよう。

(埋火より)

私の風景

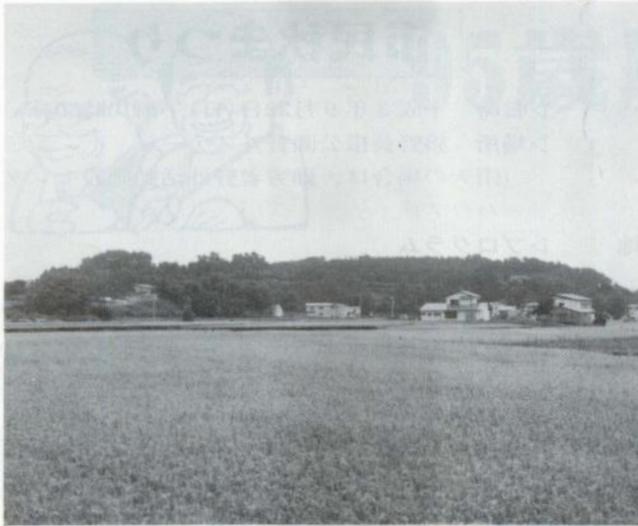
——ここが好きです (8)

「城跡展望」

岡田 晴 正さん
(市内飯詰字石田一八〇—二)

障子を開けた時、視界が広がる。同時に、翠光が部屋一杯にとびこんでくる。何んとも言えない、すがすがしさに浸る。
緑濃い木の間から、高楯

の城跡が高くそびえている。その周囲が山々に囲まれているので、山城の面影は、まことに美しい。四季折々の変化に彩どられる城跡は、あきることが無い。



特に、霧の中の城跡は、異なった趣がある。ところどころに生えている老松が、夢のように浮び、周囲の山々や梵珠山脈が、時折山影をのぞかせて、その腕の中に、すつぱりと抱かれた城跡は、一巾の墨絵そのものである。

往古は、先住民のチャシであったようで、今でも時折、縄文土器の破片を見ることが出来る。

興国二年(二三六一年)藤原藤房が安東氏より譲り受け、玄武館として築城し、数代続いたが、津軽統一のため津軽為信に政められ、天正十一年六月(一五八八年)落城したと伝えられている。

由緒ある城跡の悲しさをさそう風景は、私の自賛する古郷十景の一つである。

第23回みんなの消費生活展

- ▷期間 10月5日(土)・6日(日)・7日(月)
 - ▷場所 ショッピングデパート丸友6階催事場
 - ▷時間 午前10時～午後6時30分
- 試飲コーナーを始め、いろんなコーナーがありますよ。

引揚者の皆様へ

- 先の大戦の終戦に伴い本邦以外の地域から引揚げてこられた方で、「引揚者等に対する特別交付金の支給に関する法律」(昭和42年法律第114号)による特別交付金を受給された方に、内閣総理大臣名の書状を贈呈いたします。
- 請求は、9月2日(月)から平和祈念事業特別基金で受け付けます。
(請求書類は、基金及び都道府県・市町村などの窓口にあります。)
- 請求・お問い合わせ先
平和祈念事業特別基金 業務第二課
〒112 東京都文京区大塚5-3-13
☎03-3945-4703・4707

予備自衛官として 防衛庁長官から表彰

市内沖飯詰出身秋田恭悦氏は、自衛官退職後、予備自衛官として年一回(五日間)の訓練に、三十年間連続参加し、優秀な成績を収められ、平成三年七月三十日、国務大臣防衛庁長官から表彰されました。



川柳

川柳岩木吟社

珍らしい銘菓に祖母の茶が入り

北歩

よく出来た嫁に子が無い泣きどころ

ふみを

ライオンの弱点蟻は耳を噛み

彩人

男と女樹海いよいよ深くなる

枯葉

どっちにもいい顔をして主義がない

一閃

死顔を覗いて過去をみな赦す

しげる



親子で“トライ”

親子が一緒に交通問題にトライ、考えるイベントが開かれます。

- ▷参加者 親(免許所持者) 子供(小学生) 親子を一組として50組(先着順)
- ▷内容 親は自動車、子供は自転車による実地試験。学科試験は親子共通問題。実地と学科の合計点で、上位者を表賞、参加者全員に参加賞をプレゼントします。
- ▷日時 9月29日(日)午後1時
- ▷場所 五所川原中央自動車学校
- ▷申し込み 五所川原警察署(☎35-2141)及び各駐在所、市役所総合サービス課(内線282) 青森放送五所川原支局(☎35-1382)

和裁技術講習会

県婦人就業援助センター

和裁の初歩から、上級程度まで、各自の技術に応じての講習です。

- ▷内容 初級向(単衣の仕立) 上級向(コート仕立)
- ▷期間 10月16日～11月21日(20日間) 午前10時～午後3時30分
- ▷募集人員 15名
- ▷受講料 無料(ただし、材料費は自己負担)
- ▷会場 五所川原市働く婦人の家
- ▷用意するもの 和裁用具、筆記用具、昼食
- ▷申し込みと問合わせ 五所川原市新町33-1 五所川原市働く婦人の家内 青森県婦人就業援助センター五所川原駐在所 ☎35-8898 佐々木

市民秋まつり

- ▷日時 平成3年9月22日(日)午前10時30分
- ▷場所 狼野長根公園野外ステージ (雨天の場合は、勤労者野外活動施設センターハウス)
- ▷プログラム
 - 西北五民族芸能フェア 午前10時30分
 - 音楽コンサート 午後1時
 - ・内山善雄ジャズフォーラム
 - ・青森ベンチャーズ
 - ・竜神太鼓
 - 特別ゲスト 斎藤 治
- 総合司会 野津こうへい
- ▷主催 五所川原観光協会

10月は全国一斉

薬物乱用事犯取締り強化月間です 「白い粉」の撲滅にご協力を!!

「白い粉」に関して、目にしたり、耳にされたときは、どんな、さ細な情報でも最寄りの税関へ通報して下さい。

密輸110番 0177-34-0780

青森税関支署

わが生命 たくすベルトと ヘルメット

秋の全国交通安全運動

実施期間 3年9月21日～3年9月30日

秋の全国交通安全運動の重点

- 1.若者による無謀運転の追放
- 2.シートベルト・ヘルメット着用の徹底
- 3.違法駐車の手止め出し

お年寄り やさしく手をかす 思いやり

高齢者交通安全旬間

平成3年9月11日(水)～9月20日(金)

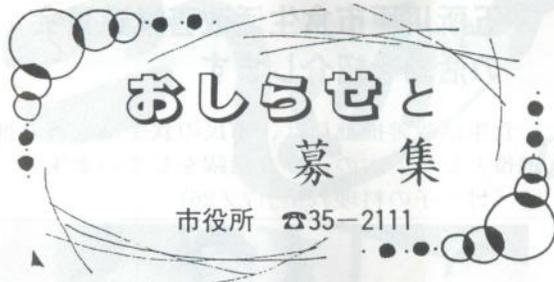
何卒見学に来て下さい
柔道・剣道・弓道・相撲道
銃剣道・空手道・少林寺拳法
特別出演なまな(中)高松空手十名(松前)なまな(遠藤)

武道演武会

やれば出来る 羽ばたけ 青少年

日時 十月十日(日)9:30～12:00
場所 五所川原市立体育館

主催 五所川原武道協議会
共催 五所川原市教育委員会



県民の森梵珠山自然観察会

—紅葉のブナ林を歩いてみましょう—

- ▷ 期日 10月20日(日)午前9時～午後2時
- ▷ 場所 浪岡町大字大釈迦 青森県民の森梵珠山「管理事務所」前集合
- ▷ 内容 秋の動植物観察
- ▷ 定員 先着50名
- ▷ 対象 小学生以上(小学生の場合保護者同伴)
- ▷ 申し込み 10月5日(土)青森県自然保護課 ☎0177-22-1111 (内線3157)
- ▷ 参加料 無料
- ▷ 持参するもの 筆記用具・雨具・弁当・水筒
- ▷ 服装 野外活動のできる服装(ハイキングシューズ又は、長靴)
- ▷ その他 参加者には、記念ワッペン・自然観察ブックを配布します。
※昼食時には、豚汁もあります。

10月の健康相談日

10月4日、11日、18日、25日。(毎週金曜日)。(ただし、18日は午前中です)

- ▷ 時間 午前10時から午後3時まで。
 - ▷ 内容 血圧測定、尿検査等を含めた健康相談に応じますので、赤ちゃんからお年寄りまでお気軽にご利用ください。
- お問い合わせは、保健環境課へ(☎内線268番)。

東北電力だより ☎ 35-2151

200ボルトクラブ料理教室

- 200ボルト機器を使用した、大人気の、楽しい料理教室です。
- ▷ とき ○ A 日程10月15日、11月19日、12月17日
いずれも火曜日、午前10時～午後1時
 - B 日程 10月17日、11月21日、12月19日、
いずれも木曜日、午前10時～午後1時
(A日程B日程とも、メニューは同じです)
 - ▷ ところ 東北電力(株)五所川原営業所 2 F

五所川原コミュニティカレッジ 講座開設

市教育委員会では本年度もまた青森職業訓練短期大学校のご協力により、コミュニティカレッジ(地域振興大学)を開設します。

本講座では、実際にパーソナルコンピュータやスーパーミニコンピュータに触れながら、いろいろなプログラムを作成し情報処理の実践に挑戦します。取り扱い方やプログラミングの基礎について説明しますので、コンピュータは初めてという人も積極的にご参加ください。

- ▷ 開設期間 10月5日～12月21日までの9日間(午後2時～5時まで)
- ▷ 場所 青森職業訓練短期大学校(市内飯詰)
- ▷ 募集人員 20人(定員になり次第締切)
- ▷ テキスト代 1,000円
- ▷ 申し込み締切 9月27日(金)
- ▷ 申し込み先 市教育委員会社会教育課(☎35-2111番内線248番)へ。

回数	月日	講座内容
		開講式
1	10月5日	<パーソナルコンピュータ入門>
2	10月12日	<BASICプログラミング>
3	10月19日	<MS-DOS入門>
4	11月9日	<MS-DOS入門>
5	11月16日	<市販ソフトの活用>
6	11月30日	<市販ソフトの活用>
7	12月7日	情報施設見学
8	12月14日	<スーパーミニコン入門>
9	12月21日	<スーパーミニコン入門>
		閉講式

農産物を販売します

— 味覚の秋がいっぱい —

広域新農業センター

- 市民の皆さん、お揃いでどうぞ。
- りんご(つがる他) 9月21日～10月31日
 - くり(築波他) 9月21日～10月6日
 - ▷ お問い合わせ 広域新農業センター ☎37-2104

電化教室 五所川原市田町113-1

- ▷ 教材費 1,500円(3回分)
- ▷ 募集人員 15名程度(先着順)
- ▷ 申し込み 10月9日(水)まで

婦人と電気の家秋季作品展

- ▷ とき 平成3年9月27日(金)～29日(日)
10:00～17:00(ただし29日は15:00まで)
- ▷ 場所 丸友デパート6階 催事場
墨絵、ちぎり絵、手芸などの作品を展示いたします。ぜひ、ご覧ください。
- ▷ 事務局 五所川原市田町113-1 東北電力(株)五所川原営業所

ほけんだより 市役所 35-2111

この欄の問い合わせ

保健環境課 (内線268・272)

乳幼児の健康診査

▷場所 市保健センター

▷受付時間 12:30~12:45まで

▷持参するもの 母子健康手帳、バスタオル。
3歳児はアンケートと尿を小ビンに入れて持参ください。

※注意 ①6ヵ月健康相談につごうで来れなかった場合は、神経芽細胞腫(小児がん)の検査セットを、母子健康手帳を持参のうえ保健環境課窓口にもらいにきてください。(6ヵ月、7ヵ月児に限る。)

②病気療養中(特に伝染性の病気)のおこさんはご遠慮ください。

月 齢	対象児	期 日	内 容
3ヵ月児	H3年 6月生まれ	10月8日(火)	健康診査
6ヶ月児	H3年 3月生まれ	10月15日(火)	健康相談
1歳児	H2年 9月生まれ	10月28日(月)	健康相談
1歳6ヵ月児	H2年 4月生まれ	10月22日(火)	健康診査
3歳児	S63年 6月生まれ	10月23日(水)	健康診査

期 日	時 間	場 所
愛の献血 10月4日 (金)	午前9時30分から 午前10時30分まで	本町④かさい駐車場
	午後3時から 午後4時まで	対馬内科小児科医院前

三種混合(百日せき、ジフテリア、破傷風)ワクチン接種

▷対象幼児 昭和62年10月1日から平成3年6月30日までに生まれた乳幼児。ただし生後48ヵ月を経過した幼児は接種できません。(Ⅱ期分については、昨年Ⅰ期終了した幼児に限り48ヵ月以上でも接種できます。)

▷実施期間

Ⅰ期	1回目	10月16日(水)・17日(木)・18日(金)
	2回目	11月13日(水)・14日(木)・15日(金)
	3回目	12月11日(水)・12日(木)・13日(金)
Ⅱ期	12月の日程で接種してください。	

▷実施方法 下記の医療機関での接種となりますので、対象者は直接医療機関で接種を受けてください。

▷注意事項 接種の際は、必ず母子健康手帳と予防接種の間診票に必要事項を記入のう

五所川原市食生活改善推進委員会の活動を紹介します

食生活改善推進員は、市民の食生活改善の推進役として、次のような活躍をしています。

①「母と子の料理教室」(7/26)



盛況だった母と子の料理教室

- ②「良い食生活をするために」(10/23予定)
- ③「元気で長生きするための食事」(11/13予定)
- ④お正月料理(12/6予定)
- ⑤他、随時、各地区で講習会を開催予定。

保健センターを中心に開催していますので皆さんお気軽に参加してください。

▷お問い合わせ 三森敬子 (☎35-4593)

事務局 市保健環境課(内線272)

好評です、血漿成分献血 この献血は予約制になっています

期 日	時 間	場 所
10月2日 (水)	午前10時から 午後4時まで	市保健センター 2階機能訓練室

え持参してください。

実施医療機関及び受付時間一覧表

医療機関名	受付時間		備 考
	午 前	午 後	
江渡内科医院	8:30~11:50	1:30~5:00	
兼平内科小児科医院	8:30~12:00	1:00~5:00	
健生病院 五所川原診療所	—	2:00~4:00	10月16,18日 11月13,15日 12月11,13日のみ実施 電話予約をすること。 木曜日 午後休診
佐藤内科小児科医院	8:30~11:30	2:00~4:30	木曜日 午後休診
西北中央病院	—	3:00~3:30	10月17,18日 11月14,15日 12月12,13日のみ実施
対馬内科小児科医院	—	1:30~3:00	
富田胃腸科内科医院	9:00~12:00	2:00~5:00	木曜日 午後休診
都谷森小児科医院	9:00~12:00	1:00~5:00	
永田小児科内科医院	8:30~12:00	1:30~5:30	木曜日 午後休診
白生会胃腸病院	9:00~11:00	1:00~4:00	
増田病院	9:00~11:00	2:00~4:00	
三好診療所	10:00~12:00	2:00~3:00	
森田診療所	9:00~11:00	—	午前のみ受付